

# 日本計量新報

計測と科学

日本計量新報社

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

Yamaha

清潔な環境を創造する  
安全衛生デジタル温度計

製品名: 測定値: P5000  
モデル名: P5000-1  
測定範囲: 0.000~99.999℃



UDS-1VI/N-WP

大和製衡株式会社  
TEL: 076-818-8577

静電気特集②③面

とつきよつの計量

④⑤⑥面

## 06年度第1回計量標準部会開く 光(分布温度)の計量標準を変更

### 計行審

#### 2分野で校正範囲拡大

光(分布温度)の国家計量標準(特定標準器)が「分光放射輝度測定装置」になる。これにともない、旧標準器は指定が取り消される。電圧(低周波)の「誘導分圧器」の標準供給範囲が拡大され、新たに100V/50~60Hzが供給される。標準物質(濃度)で、磁気式酸素計の校正に使われる「酸素標準ガス」で、高濃度域へ供給範囲を拡大する。2月20日、経済産業省で開かれた「平成18年度第1回計量行政審議会計量標準部会(今井秀孝部会長)で、経済産業大臣の諮問に応えて審議し、承認した。計量行政審議会に報告する。経済産業省は、決まった内容を告示することになる。3つの報告事項があった。計量標準部会の次期開催は9月頃を予定している。

#### 分布温度は「分光放射輝度照度測定装置」に

光(分布温度)の国家計量標準(特定標準器)が「分光放射輝度照度測定装置」になる。現行の

特定標準器「分布温度測定用受光器」の指定が取り消される。

光(分布温度)の現行の特定標準器は「単色平行光発生装置」「比較受光器」「自己校正測定装置」「分布温度測定用受光器」である。分布温度の実現方法の国際整合をすすめることになり、分布温度測定用受光器は特定標準器から外れる。「単色平行光発生装置」「比較受光器」「自己校正測定装置」は、光度、全光束および照度の特定標準器として、引き続き使う。

日本電気計器検定所が保管する特定2次標準器「コイルM字型分布温度標準電球」は、「分布温度測定用受光器」の特定2次標準器として指定されている。測定範囲が拡大され、新たに100V/50~60Hzが供給される。「誘導分圧器」の標準は「誘導分圧器校正装置」が特定標準器に指定されており、現在10V/1kHzの標準が供給されている。

特定2次標準器に「一段変成比率」の誘導分圧器を追加する。校正等の周期は1年。

測定用受光器」の特定2次標準器としての指定を取り消し、「分光放射輝度照度測定装置」の特定2次標準器として指定。

#### 「誘導分圧器」の供給範囲を拡大

電圧(低周波)の「誘導分圧器」の標準の供給範囲が拡大され、新たに100V/50~60Hzが供給される。「誘導分圧器」の標準は「誘導分圧器校正装置」が特定標準器に指定されており、現在10V/1kHzの標準が供給されている。

特定2次標準器に「一段変成比率」の誘導分圧器を追加する。校正等の周期は1年。

#### 「酸素標準ガス」を高濃度域へ拡大

標準物質の「酸素標準ガス」はすでに供給されているが、今回、高濃度域へ供給範囲を拡大する。酸素ガスの重要な品質の純度は磁気式酸素計で測定されることが多く、磁気式酸素計での純度測定に使われる高濃度域の酸素標準ガスの供給の要望が高まっていた。

成分として、窒素希釈で、純度が98体積百分率および99.5体積百分率以上の酸素を含む酸素標準ガスを特定標準物質として供給する。指定校正機関は、(財)化学物質評価研究機構。

大型数値表示と見やすさを追求した

### チノー デジタルハンディ温度計「MC1000」を発売

(株)チノー(東京都板橋区熊野町32-8、電話03-3956-1220)「フィールド現場で見やすい表示」を追求したデジタルハンディ温度計MC1000を2月下旬に新商品として発売する。



MC1000

デジタルハンディ温度計MC1000を2月下旬に新商品として発売する。

0の大きな特長は、1桁数値のサイズが9×18mmと携帯型デジタル温度計としては画期的な大きさであり、この数値を大型LCD(液晶)に表示し、さらにその表示部を明るくするバックライトも採用していることである。

その結果、暗いフィールド現場においてもパッと目に飛び込む大変見やすい表示となっている。数値は測定値と演算値などを2段階で常時表示し、比較などの確認が容易

易となっている。本体とセンサはコネクタ接続とし、同社が従来から納入してきた相当品ND500シリーズ用センサやオメガタイプのミニコネクタが接続可能となっている。入力の種類は熱電対K、Tおよび測温抵抗体Pt100が入力できる

マルチレンジタイプとして、またセンサ固有の誤差を合わせ込むための温度補正機能を搭載し、ユーザのデータ管理に配慮した設計となっている。

いる。演算機能については計測温度の最高、最低、平均、変化量の基本演算はもちろん安定判別、警報機能、メモリ機能なども備えている。さらに現場ユーザーからの電池寿命は出来るだけ長くしてほしいとの要望に応え、700時間の長寿命を確保している。

【価格】本体のみ2万1800円

#### 今週の主な記事

- ①面 計行審計量標準部会、チノー新製品
- ②③面 静電気除去器特集
- ④⑤⑥面 とつきよつの計量
- ⑦面 あいじ計測座談会
- ⑧面 計量正確強調月間行事、新年会、会報紹介、社説
- ⑨面 タニタ新会社設立
- ⑩面 「はかる」をテーマに商品化事業、TENT2007